



ABEST21 e-News

No.97, April-June 2018

ABEST21

THE ALLIANCE ON BUSINESS EDUCATION AND SCHOLARSHIP FOR TOMORROW,
a 21st century organization

URL: <http://www.abest21.org> TEL. 03-3498-6220 E-Mail: ABEST21@abest21.org
Editor: Fumio Itoh

ABEST21 Office Report

=====

2018年4月

- ・16日：ABEST21で青山学院大学大学院国際マネジメント研究科及び早稲田大学大学院経営管理研究科に対する Seminar II の実施
- ・17日：ABEST21で一橋大学大学院国際企業戦略研究科及び筑波大学大学院ビジネス科学研究科国際経営プロフェッショナル専攻に対する Seminar II の実施
- ・19日：京都大学稲葉カヨ副学長を訪問
- ・23日：タイ・チョンブリの Burapha University で 2018 年度受審校に対する Seminar II の実施
- ・25日：マレーシア・クアラルンプールの International Islamic University Malaysia で 2018 年度受審校に対する Seminar II の実施
- ・27日：インドネシア・スラバヤの Universitas Airlangga で 2018 年度受審校に対する Seminar II の実施

2018年5月

- ・12日：株式会社東芝本社を訪問
- ・22日：インドネシア Universitas Padjadjaran の PRT との打合せ
- ・23日：中国・Northeastern University の PRT との打合せ

2018年6月

- ・01日：2018年 PRT Review Report を各認証校に発送
- ・15日：AAAと審査資料 web 掲載についての打合せ
- ・xx日：インドネシア大学と ABEST21 Jakarta Office についての契約締結

I. Quality Improvement and Peer Review System – No. 34

=====

「第三者認証評価機関の客観的評価」について

大学を取り巻く教育研究環境が加速度的に進展していく時代において、大学は常に社会の多様なニーズに応じていかなければならない。例えば、情報通信技術の進展は大学に時間・空間・位置を超越した異文化圏の大学との教育の相互利用を可能にする国際的な仮想教室の開設を促し、大学に学習機会の多様化を求めてきた。しかし、教育研究環境の変化に大学が適応しうるか否かは、大学に変化に対応しうるだけの力量、すなわち研究力、教育力及び社会貢献力等が備わっているか否かにかかっていた。

これまで大学は環境の変化に随時適応しうる研究力、教育力及び社会貢献力等の力量の有無を把

握し大学の質を維持していくために、大学は「自己点検・評価」による内部評価を行い、その結果を外部に公表してきた。しかし、一般的に内部評価ではなかなか本質が社会に出てこない。特に、「タテ」の社会では、周知の如く組織の同族意識が強く作用して、組織の一体感を維持していくために組織にとって不都合なことは外部に出てこない。例えば、大学は学内に不祥事が起こると大学の評価を下げるとして外部に漏れないように隠蔽してくる。大学が未来の「あるべき姿」を求めて「教育研究上の目的」の実現を目指していく戦略の分析においても、大学は克服すべき「弱み (weakness)」の分析を軽視してくる場合が多い。従って、「タテ」の社会での「自己点検・評価」の分析には、社会のステークホルダーが求める分析がなされにくいので、第三者評価が求められてくる。

それ故、社会は大学の質について客観的で透明性の高い評価を第三者評価に期待してくる。それは「タテ」の社会の内部評価に Peer Review という「ヨコ」の関係を横断的に差し込んでくることに等しい。大学と利害関係のない外部の有識者による評価によってより客観性を高めていこうとするものである。それを実現していくために第三者認証評価機関の制度が制定されてきた。

しかし、この第三者認証評価機関は監査機関ではないことを認識しなければならない。評価委員は auditor ではない。例えば、評価委員の中には評価対象の大学を上からの目線で大学にあらゆる資料の用意をさせ、何か問題が隠されていないかどうかと重箱の隅をほじくるように根掘り葉掘り問い質し、高圧的な態度であらゆる要求をしていくケースがあることを聞かされている。

第三者評価は、大学との相互信頼関係に基づいて行われたい限り客観的な評価は得られない。大学と同じ目線で大学が認証評価基準に従って分析した「自己点検・評価」を共有し、第三者認証評価機関は大学の分析を信頼し、大学は評価委員の識見を信頼し、「大学の質維持向上による質保証」という目的を共有できてこそ認証評価の客観性は得られるものと考えている。しかし、その期待に応えていくため鍵は、第三者認証評価機関の Peer Review System の仕組みに依存している。

それ故、ABEST21 はこの実現のために次の取り組みをしている。まず第一は、環境の変化における「大学の質維持向上による質保証」を評価するプロセスを大学と共有することである。そのプロセスは、1) 認証評価を受ける体制が大学に整備されているかを確認する “Quality Improvement Plan (QIP)” を評価するプロセスである。次に、2) 大学が認証評価基準に従って自己点検・評価の分析をした “Self-Check/ Self-Evaluation Report (SCR)” の分析の適切性と適合性を評価していく。そして、最後に、3) 改善課題が計画通りに解決され質維持向上が図られたかを「実行計画履行状況報告 (KAIZEN Report)」の評価で検証していく。“Self-Check/ Self-Evaluation Report” と KAIZEN Report とがセットで評価されない限り、認証評価による大学の質保証は難しいと考える。

第二は、グローバル化時代における大学とのコミュニケーションを円滑にしていくために、原則として国際コミュニケーション言語としての「英語」を使用してしての評価を確認している。従って、大学が提出する “Quality Improvement Plan (QIP)”、“Self-Check/ Self-Evaluation Report (SCR)”、そして KAIZEN Report (KR) はすべて英語で分析されることとしている。そして、提出された QIP、SCR そして KR の「書面審査 (Desk Review)」と「実地審査 (On-site Interview)」は英語で行うこととしている。英語圏の国での認証評価ではこの使用言語の問題は無意味な問題であるかもしれないが、文化の多様性を特徴とするアジアではこのコミュニケーション言語の問題は重要な問題なのである。

第三は、認証評価の客観性を担保していくプロセスである。それは実際に評価をする Peer Review の客観性に依拠している。その客観性の担保として、ABEST21 は次の Peer Review System を構築している。1) 「社会の時代的要請に応えた評価」のために、産業界の有識者を委員に招聘した Accreditation Committee (AC) を設定している。2) 「グローバル化に対応した評価」のために、AC

の下位の委員会として多様な国からの委員（学部長）で構成される Peer Review Committee (PRC) を設定している。3)「高度の専門性に基づく評価」のために、年齢、性別そして国籍を異にして、専門分野に高い識見を持つ教育研究者等をメンバーにした Peer Review Team を組織している。大学の質保証をする認証評価は学術研究の成果を評価するのとは異なり、同質的なメンバー構成よりも多様なメンバー構成によりより客観的な評価が得られるものと期待している。

第三者認証評価は、一つの大きな大陸に複数の国が存在している文化圏では文化の類似性があるために第三者認証評価は馴染みやすい制度であるかもしれない。しかし、島国の多い異質多様な文化を持つアジアでは共通の価値観をもって第三者認証評価を展開していくにはいくつものハードルを飛び越していかなければならない。7月18日にその第一歩としてインドネシアのジャカルタに ABEST21 の事務所を開所するのはそのためである。（理事長、伊藤文雄）

II. Global Knowledge Network

=====

1. Council for Nurturing Global Management Professionals の設立について

ABEST21 は、企業等組織のマネジメント力に優れた人材育成のために、インドネシア、マレーシア及びタイの各国に、東京の「マネジメント人材育成協議会」をモデルにした産官学連携の協議会を上記の各国に設立することになり、11月2-3日開催の ABEST21 バンドン学長・学部長会議で協議することになりました。

2. ABEST21 Jakarta Office の開所式について

ABEST21 は、ASEAN 諸国のマネジメント教育研究活動の質維持向上を推進していく活動拠点として、ABEST21 ジャカルタ事務所をインドネシア・ジャカルタのインドネシア大学に開設することになり、2018年7月18日に下記のプログラムで開所式を行うことになりました。

Date: Wednesday, July 18th, 2018

Venue: FEB-UI Building, UI Salemba Campus, Jl. Salemba 4 Jakarta Pusat, Jakarta, Indonesia

12:00-13:00: Registration

Chairperson: Dean Prof. Dr. Ari Kuncoro, FEB-Universitas Indonesia

13:00-15:00

Opening Remark: ABEST21 President & CEO Prof. Dr. Fumio ITOH

Keynote Speeches:

- Minister Dr. Mohamad Nasir (under negotiation)
The Ministry of Research, Technology and Higher Education of Republic of Indonesia
- Minister Ryo NAKAMURA (under negotiation)
Embassy of Japan in Indonesia

Guest Speeches

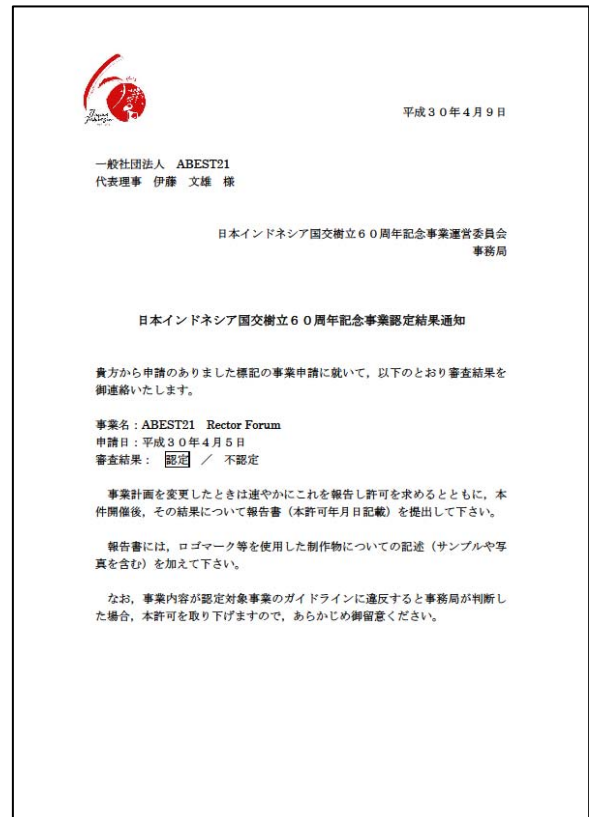
- Rector Professor Dr. Ir. Muhammad Anis, Universitas Indonesia
- Deputy President Director Fumiro KIMURA, PT Bank Mizuho Indonesia
- Chairman Dr. Suharnomo, ASOSIASI FAKULTAS EKONOMI DAN BISNIS INDONESIA (AFEBI)
- Chairman Dony Abdul Chalid, Ph.D., ALIANSI PROGRAM MAGISTER MANAJEMEN INDONESIA
- Chairman Dr. Dwiwahju Sasongko (under negotiation)
Badan Akreditasi Nasional Perguruan Tinggi (BAN-PT)

Closing Remark: ABEST21 Vice President Prof. Dr. Candra Fajri Ananda, Universitas Brawijaya

15:00-15:30 : Refreshment

3. The ABEST21 Rector Forum の開催について

ABEST21 は、2018 年 11 月 2 日-3 日、ABEST21 Rector Forum をジャワ島バンドン市の所在するバンドン工科大学 (Institut Teknologi Bandung) で開催することになりました。周知の如く、今年には日本とインドネシアとの国交樹立 60 周年を迎える記念すべき年であり、ABEST21 Rector Forum の開催は「日本インドネシア国交樹立 60 周年記念事業」の一環としての事業に認定されました。現在、ABEST21 のインドネシア学校会員数は 25 校で学校会員校全体数の約 30% を占めていますので、日本とインドネシアとの学術国際交流の推進に寄与していきたいと考えています。ABEST21 Rector Forum では、Minister Dr. Mohamad Nasir (The Ministry of Research, Technology and Higher Education of Republic of Indonesia) と Minister Ryo NAKAMURA (Embassy of Japan in Indonesia) を Keynote Speakers としてお迎えし、産官学の英知を結集して、実現可能性の高い具体的な施策について討議していきたいと考えています。ABEST21 の認証評価による大学の質保証が、学術国際交流推進の基盤整備を可能にし、実現可能性を高めてきていると思料いたします。



III. Accreditation

1. Faculty of Business and Economics, Universitas Surabaya, Surabaya 認証評価証の授与

Faculty of Business and Economics, Universitas Surabaya の Magister Manajemen Program は、2018 年 3 月開催の Peer Review Committee, Accreditation Committee により認証されましたが、当日、大学代表者が所要のため 2018 年度総会を欠席されましたので、2018 年 4 月 27 日、スラバヤのキャンパスで認証評価証書が学長（写真左）に ABEST21 理事長より手渡されました。



2. 2018 年度受審校数について

ABEST21 は、2007 年 10 月 12 日に文部科学相より経営分野の分野別認証評価機関として、さらには 2011 年 10 月 31 日に知的財産分野の分野別認証評価機関としてそれぞれ認証されてから 10 余年が経過いたしました。この間に 2011 年 3 月に海外会員校の認証評価をも始め、この 2018 年 3 月までに国内外 7 ヶ国 54 大学の主にマネジメント・プログラムの認証評価を行ってきました。評価対象の専門分野も“Management”だけでなく、“Accounting”及び“Applied Economics”をも加え、

さらには修士課程のプログラムだけでなく、学士課程及び博士課程のプログラムをも評価する評価対象範囲の拡大にも努めてきました。また、学部全体の教育プログラムを評価対象とする Academic Unit-based Accreditation System を開発し、2018年3月にその第一号としてインドネシアの School of Business and Management, Institut Teknologi Bandung (SBM-ITB)の認証評価をいたしました。

2018年度の ABEST21 Accreditation System への受審プログラム数は下表の通りです。日本の経営分野別認証評価の関係では、経営専門職大学院の受審件数は4専攻5教育プログラムです。また、海外の会員校の Program-based Accreditation System の受審件数は17教育プログラムであり、Academic Unit-based Accreditation System の受審件数は4学部です。

A) Program-based Accreditation System

1) 国別認証評価実績 (2009.3 – 2018.3)

	CH	ID	JP	MY	RU	SP	TH	Total
Program	1	20	18	9	1	2	2	53
Academic Unit	-	1	-	-	-	-	-	1

CH: China, ID: Indonesia, JP: Japan, MY: Malaysia, RU: Russia, SP: Singapore, TH: Thailand

2) 2018年度受審プログラム別

Programs	Economics	Management	Accounting	Finance	Total
QIP	-	9	1	1	11
SCR	-	11	-	-	11
Total	-	20	1	1	22

3) 2018年度受審国別

Countries	China	Indonesia	Japan	Malaysia	Thailand	Total
QIP	-	3	2	4	2	11
SCR	1	3	3	3	1	11
Total	1	6	5	7	3	22

B) Academic Unit-based Accreditation System

Countries	China	Indonesia	Japan	Malaysia	Thailand	Total
QIP	-	4	-	-	-	4
SCR	-	-	-	-	-	-
Total	-	4	-	-	-	4

3. ABEST21 Accreditation Seminar II の開催について

2018年度認証評価受審校を対象にした Accreditation Seminar II が、東京、バンコック近郊の Chonburi, マレーシアの Kuala Lumpur そしてインドネシアの Surabaya で、それぞれ下記の日程で開催されました。

1) Accreditation Seminar II- Tokyo

日時：2018年4月16日・17日

場所：ABEST21

2) Accreditation Seminar II- Bangkok



日時：2018年4月23日

場所：Burapha University, Chonburi

3) Accreditation Seminar II- Kuala Lumpur

日時：2018年4月25日

場所：International Islamic University Malaysia,
Gombak

講師：Dean Azlan Amran (USM)

4) Accreditation Seminar II- Surabaya

日時：2018年4月27日

場所：Universitas Airlangga, Surabaya

講師：Dr. Candra Fajri Ananda (UB),
Dr. Sri Gunawan (UNAIR)

2018年6月末日までに提出される予定のレポート、

(1) "Quality Improvement Plan (QIP)"

(2) "Self-Check/Self-Evaluation Report (SCR)"

についての分析の仕方とそれに関連した評価基準、評価プロセス及び Peer Review System 等についての説明と質疑応答が行われました。



4. 2018年3月認証評価審査結果の報告

2018年3月6日に認証評価をした8校の認証評価審査報告書を印刷製本し、各認証校に当該校の認証評価審査報告書を"ABEST21 Peer Review Report"として送付いたしました。また、認証各校の審査結果を社会に公表するために、web掲載の作業を現在進めています。この"ABEST21 Peer Review Report"における Peer Review Team のコメントは、大学の質維持向上に対する貴重な意見であり、「当該大学のあるべき姿」を追求していくテキストとして利用価値のあるものと確信しています。ABEST21 Peer Review Report は、下記の内容構成で編集されています。

1. The ABEST21 Accreditation System
2. The Peer Review Team Comprehensive Evaluation
3. The PRT Review on the QIP
4. The PRT Review on the SCR
5. The PRT Review on the Quality Improvement Initiatives and Action Plans

Enhancing the Quality of Management Education

ABEST21 Peer Review Report

for
Master of Management Program,
Faculty of Economics and Business
Universitas Indonesia, Indonesia

accredited under
Program-based Accreditation System



March, 2018
ABEST21
THE ALLIANCE ON BUSINESS EDUCATION AND
SCHOLARSHIP FOR TOMORROW, a 21st century organization
Tokyo, JAPAN

5. ABEST21 Peer Review Training Seminar の開催について

2018年度の審査プログラム件数は、経営専門職大学院関係で QIP の Program-based Accreditation System で 2 学位教育プログラム、SCR の Program-based Accreditation System で 3 学位教育プロ

グラム、そして KAIZEN Report で 1 プログラムです。全体で QIP の Program-based Accreditation System で 11 学位教育プログラム、Academic Unit-based Accreditation System で 4 学部、SCR の Program-based Accreditation System で 11 学位教育プログラムであり、KAIZEN Report は 2 プログラムです。その結果、PRT メンバー数は 100 名を超える数となりました。PRT の質維持向上を図るために下記の日程で PRT メンバー研修会を開催することになりました。なお、日本での研修会の開催については日程の調整中です。

1) Thailand

日時：2018 年 7 月 14 日

場所：Chiang Mai University, Chiang Mai

講師：President Dr. Fumio Itoh, Dean Dr. Siriwut Buranapin

2) Malaysia

日時：2018 年 7 月 16 日

場所：PUTRA Business School, Universiti Putra Malaysia, Seldan

講師：President Dr. Fumio Itoh, Dean Prof. Dr. Azlan Amran, Prof. Dr. Ming Yu Cheng

3) Indonesia

日時：2018 年 7 月 18 日

場所：Universitas Indonesia, Jakarta

講師：President Dr. Fumio Itoh, Dr. Sri Gunawan